

關みさを、註國文學者、歌人。明治二十六年二月一日山形縣上ノ山  
生れ、昭和四十九年二月十一日歿（八三—一九七五）。筆名松平操子、東  
山みどり、門田みどり。教育家關時發の長女。岡山縣立西大寺高等女  
學校を経て、大正四年東京女子高等師範學校卒。同年東京府立第一高  
等女學校教諭、九年新潟高等女學校教諭となり退職。戰時中文學報國  
會、女流文學者會會員。昭和二十五年女流日本文學研究會の創會創  
設に參劃、河野多麻、園地文子、野上瀧生子、湯澤芳子等と推した。  
四十年日百合女子大學教授。紫式部學會評議員。夫はドイツ文學者關  
泰祐（舊姓千原）、同學關楠生は次男、長女美鈴は國文學者市古貞次  
の嫁す。

著書に『大伴家持』（松平操子名、大正六年五月五日抒情詩社）註日

本文歌撰』（）、『萬葉の現れたる女流歌人とその歌』（昭和四年一月

二十五日博文館）、うち十七年九月二十日『文化選書』（）、『源氏物語

女性考』（昭和九年十月二十一日建設社。復刊・全一冊、上巻・昭和

二十一年五月十五日、下巻・二十五日河出書房『河出文庫』（）、『清

少納言とその文學』（昭和十五年三月五日萬里閣）、『清少納言』（昭

和十七年九月十五日三省堂）、『源氏物語研究』（昭和二十七年一月

十五日河出書房『市民文庫』（）、歌

集『五月野』（昭和二十九年八月十

日河出書房）、『枕草子研究』（昭

和二十年四月二十五日河出書房『河

出文庫』（）、『關みさをの歌集』（昭

和五十年十一月二十五日関泰祐刊）



